

科目名		英語科目名		Seminar II		
開講年度・学期		平成 28 年度・後期		電子制御工学科 5 年		
授業形態		講義		必修 or 選択		
単位数		1		単位種類		
担当教員		電子制御工学科全教員 (渡邊、南斉、久保、 鹿野、平田、笠原、大 島、井上、飯島)		居室（もしくは所属）		
電話		渡邊：内線 262 南斉：内線 257 久保：内線 261 鹿野：内線 258 平田：内線 254 笠原：内線 263 大島：内線 259 井上：内線 260 飯島：内線 262		E-mail		
				電気電子創造工学科棟 3F 渡邊、南斉、鹿野、笠原、井上、飯島 電気電子創造工学科棟 4F 久保、平田、大島		
授業の到達目標				授業到達目標との対応		
				小山高専の 教育方針	学習・教育 目標 (JABEE)	JABEE 基 準要件
卒業研究で必要となる専門知識を広く理解し、説明できる。				③ ④○	A BO	d-1 d-2 d-3 e、g、h
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法						
卒業研究への理解度・内容・取り組み方などを総合して評価する。						
評価方法						
卒業研究への（１）理解度、（２）内容、（３）取り組み方で評価する						
授業内容		授業内容に対する自学自習項目			授業内容	
各研究室により課題などが与えられる。 ・英語の専門書・論文などの輪読 ・各研究における内容・進捗状況の報告 ・主要課題の学習						

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation Research		
開講年度・学期	平成 28 年度前期・後期	対象学科・専攻・学年	電子制御工学科 5 年		
授業形態	実験・実習	必修 or 選択	必修		
単位数	10	単位種類	履修単位		
担当教員	電子制御工学科全教員 (渡邊、南斉、久保、 鹿野、平田、笠原、大 島、井上、飯島)	居室（もしくは所属）	電気電子創造工学科棟 3F 渡邊、南斉、鹿野、笠原、井上、飯島 電気電子創造工学科棟 4F 久保、平田、大島		
電話	渡邊：内線 262 南斉：内線 257 久保：内線 261 鹿野：内線 258 平田：内線 254 笠原：内線 263 大島：内線 259 井上：内線 260 飯島：内線 262	E-mail	渡邊：watanabe@小山高専ドメイン 南斉：nansai@小山高専ドメイン 久保：kubo@小山高専ドメイン 鹿野：kano@小山高専ドメイン 平田：hirata@小山高専ドメイン 笠原：kasahara@小山高専ドメイン 大島：s-oshima@小山高専ドメイン 井上：k.inoue@小山高専ドメイン 飯島：yijima@小山高専ドメイン		
授業の到達目標			授業到達目標との対応		
			小山高専の 教育方針	学習・教育 目 標 (JABEE)	JABEE 基準要件
(1) 卒業研究の基礎，専門分野の知識を基に十分に理解し主体的に実践できる。			① ② ③ ④○ ⑤ ⑥	BO E	d-2, d-3, d-4, f
			① ② ③ ④○ ⑤ ⑥	BO	d-2, d-3, d-4, f
(3) 卒業研究の内容を口頭および論文などで適切に発表できる。			① ② ③ ④○ ⑤ ⑥	BO E	d-2, d-3, d-4, f
			① ② ③ ④○ ⑤ ⑥	E	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
(1)、(2) は指導教員により、卒業研究期間全体を通しての達成度を各項目に対して評価する。(3) は指導教員および他教員 2 名の計 3 名により、卒業研究発表会での達成度を評価し、それらの合計を卒業研究の評価とする。					
評価方法					
(1) は 3 0 点、(2) は 4 0 点、(3) は合計で 3 0 点（指導教員 1 0 点、他教員 1 0 点× 2 名）の配分で各項目を評価し、合計で 1 0 0 点満点とする。6 0 点以上を合格とする。					
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		授業内容	
各学生は配属された研究室で、指導教員からテーマを与えられ研究を自主的に進める。学生は指導教員から適時指導を受ける。1 0 月頃には卒業研究中間発表会で発表し、進展状況を全教員及び学生に報告する。2 月には卒業研究発表会で発表し、研究結果を全教員および学生に報告する。					
		自学自習時間合計			
キーワード					
教科書					
参考書					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目					
現学年の関連科目					
次年度以降の関連科目					
連絡事項					
卒業研究は高専での学習の総まとめと共に、社会や大学に行ってから必要とされる様々な研究、問題解決能力やプレゼンテーション方法を学ぶものである。従って、卒業研究に対しては誠実な態度で臨む必要がある。研究時間は、正規の時間割に含まれる時間以外も含まれる。受講する学生は指導教員の指示のもと、真摯な態度で研究すること。					

シラバス作成年月日	2016 年 2 月 29 日作成, 2016 年 6 月 27 日 学習・教育到達目標 (JABEE) , JABEE 基準を修正
-----------	---